

**在留外国人向けコンタクトセンターを展開するインジェスター  
「在留資格情報」と「生活・行政情報」等を提供する  
多言語 AI チャットボットサービス「AI ビザ相談 BOX」を開始**

訪日外国人および在留外国人向けのプロモーション、マーケティング、有料職業紹介、教育、多言語コンタクトセンターなどを提供する株式会社インジェスター（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：呉 希昌）は、日本に在留する外国人の方々が抱える行政手続きや生活上の情報アクセスにおける課題解決に向け、多言語対応の AI チャットボットサービス「AI ビザ相談 BOX」を本日から開始いたします。

**1. 「AI ビザ相談 BOX」サービスの利用方法：**

<https://www.injestar.co.jp/aibox> にアクセスください

**2. サービスの開始背景：在留外国人の暮らしの課題を解決**

近年、在留外国人の増加に伴い、多言語かつ分かりやすく生活に関する情報を提供する仕組みの構築は、喫緊の課題となっています。特に、在留資格や税金・保険といった行政手続きに関する情報は複雑で、言語の壁が大きな障壁となっています。

この「言葉の壁」と「情報格差」を解消し、全ての方が安心して日本で生活できる環境を整備するため、**24 時間 365 日**、必要な情報へアクセスできる AI チャットボットを開発しました。

**3. サービス内容：AI 活用により、複雑な質問に対しても対話形式で疑問を解消**

在留外国人の方々が最も日常的に必要とする「在留資格情報」と「生活・行政情報」を中心に、情報サービスを提供します。これらの回答は、インジェスターがこれまで在留外国人対応コンタクトセンターで培った経験やノウハウに基づいて提供されます。

**(1) 在留資格手続きの不安を解消**

- ・在留資格の種類や取得要件に関する疑問を分かりやすく解説。
- ・更新・変更に必要な書類、申請のタイミングなどの重要な情報をサポート。

・家族の帯同や再入国許可といった、個別の状況に応じた質問にも対話形式で回答。

(2) 生活行政情報：転入・転出手続きを支援（予定）

- ・転入・転出の手続き、各種証明書の取得方法など。
- ・マイナンバー、所得税、住民税の仕組み、国民健康保険、年金制度の加入・支払い方法など。

(3) 多言語対応と動画を活用し、直感的な理解を支援

- ・日本語、ベトナム語での質問・回答を実施。
- ・英語、中国語、韓国語、インドネシア語、ミャンマー語など 16 言語対応（予定）
- ・一般的なテキストによる回答だけでなく、多言語で作成したショート動画を回答に用意。（予定）

#### **4. 今後の展望：緊急時対応と連携の強化**

本サービスで得られたフィードバックを基に、AI の学習データと機能の改善を迅速に進めます。今後、行政手続きサポートに加え、災害発生時の案内、緊急医療情報（夜間・休日対応病院の多言語案内）など「緊急性の高い情報提供機能」を追加実装予定です。

将来的には、地方自治体や企業との連携を通じて、地域に密着したローカル情報や、行政手続きのオンライン申請サポートまでをシームレスに支援するプラットフォームへと進化させてまいります。

#### **株式会社インジェスターについて**

訪日外国人および在留外国人向けのプロモーション、マーケティング、有料職業紹介、教育、多言語コンタクトセンターなど様々なサービス及び通訳・翻訳・ローカライズサービス等を提供しています。事業の詳細は、<https://www.injestar.co.jp/>をご覧ください。

<b>本プレスリリースに関するお問い合わせ先</b>
株式会社インジェスター マーケティング/経営企画 担当：木下
TEL：03-6628-4339 / FAX：03-6261-3908 / Email：kinoshita@injestar.co.jp